

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 11 月 5 日 (2009.11.5)

【公開番号】特開 2008-79150 (P2008-79150A)

【公開日】平成 20 年 4 月 3 日 (2008.4.3)

【年通号数】公開・登録公報 2008-013

【出願番号】特願 2006-257889 (P2006-257889)

【国際特許分類】

H 0 4 L 1/16 (2006.01)

H 0 4 L 12/56 (2006.01)

H 0 4 W 84/12 (2009.01)

H 0 4 L 29/08 (2006.01)

H 0 4 N 7/173 (2006.01)

H 0 4 N 7/26 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 1/16

H 0 4 L 12/56 2 0 0 Z

H 0 4 L 12/28 3 0 0 Z

H 0 4 L 13/00 3 0 7 Z

H 0 4 N 7/173 6 1 0 Z

H 0 4 N 7/13 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 9 月 18 日 (2009.9.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

通信装置であって、

通信手段と、

映像のフレームのスタートと、エンドとを検出する検出手段と、

前記映像のフレームのスタートを検出したことを示す情報と、映像のフレームのエンドを検出したことを示す情報とを、前記通信手段に通知する通知手段と、を有し、

前記通信手段は、前記通知手段からの前記通知に応じて、映像の転送に係る、M A C レベルの A c k を制御することを特徴とする通信装置。

【請求項 2】

前記通信手段は、前記通知手段からの前記通知に応じて、映像の転送に係る、B l o c k A c k を制御することを特徴とする請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 3】

前記通知手段は、R T P ( R e a l - t i m e T r a n s p o r t P r o t o c o l ) のヘッダーを用いて、前記映像のフレームのスタート又はエンドを検出したことを示す情報を、前記通信手段に通知することを特徴とする請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 4】

通信装置であって、

映像の伝送の際の送信レートを判断する判断手段と、

前記判断手段による判断により、映像の伝送の送信レートに応じて、前記映像の再送を

実行する再送手段と、を有することを特徴とする通信装置。

【請求項 5】

通信装置であって、  
通信手段と、  
映像のマクロブロックのスタートと、エンドとを検出する検出手段と、  
前記映像のマクロブロックのスタートを検出したことを示す情報と、映像のマクロブ  
ロックのエンドを検出したことを示す情報とを、前記通信手段に通知する通知手段と、を有  
し、  
前記通信手段は、前記通知手段からの前記通知に応じて、映像の転送に係る、M A C レ  
ベルの A c k を制御することを特徴とする通信装置。

【請求項 6】

通信装置であって、  
通信手段と、  
映像のリシンクマーカを検出する検出手段と、  
前記映像のリシンクマーカを検出したことを示す情報を、前記通信手段に通知する通  
知手段と、を有し、  
前記通信手段は、前記通知手段からの前記通知に応じて、映像の転送に係る、M A C レ  
ベルの A c k を制御することを特徴とする通信装置。

【請求項 7】

通信モジュールを有する通信装置が実行するデータ送信方法であって、  
映像のフレームのスタートと、エンドとを検出し、前記映像のフレームのスタートを検  
出したことを示す情報と、映像のフレームのエンドを検出したことを示す情報とを、前記  
通信モジュールに通知し、  
前記通信モジュールは、前記通知に応じて、映像の送信に係る、M A C レベルの A c k  
を制御することを特徴とするデータ送信方法。

【請求項 8】

通信モジュールを有する通信装置が実行するデータ送信方法であって、  
映像の送信レートを判断し、映像の送信レートに応じて、前記映像の再送を実行するこ  
とを特徴とするデータ送信方法。

【請求項 9】

通信モジュールを有する通信装置が実行するデータ送信方法であって、  
映像のマクロブロックのスタートと、エンドとを検出し、前記映像のマクロブロックの  
スタートを検出したことを示す情報と、映像のマクロブロックのエンドを検出したことを  
示す情報とを、前記通信モジュールに通知し、  
前記通信モジュールは、前記通知に応じて、映像の送信に係る、M A C レベルの A c k  
を制御することを特徴とするデータ送信方法。

【請求項 10】

通信モジュールを有する通信装置が実行するデータ送信方法であって、  
映像のリシンクマーカを検出し、前記映像のリシンクマーカを検出したことを示す  
情報を、前記通信モジュールに通知し、  
前記通信モジュールは、前記通知に応じて、映像の送信に係る、M A C レベルの A c k  
を制御することを特徴とするデータ送信方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】通信装置及びデータ送信方法

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 1 】

本発明は、通信装置及びデータ送信方法に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

そこで、本発明は、通信装置であって、映像のフレームのスタートと、エンドとを検出し、前記映像のフレームのスタートを検出したことを示す情報と、映像のフレームのエンドを検出したことを示す情報とを、通信手段に通知し、該通知に応じて、映像の転送に係る、MACレベルのAckを制御することを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

係る構成とすることにより、例えばエラー発生時等において、効率的な再送制御を行うことができるようになる。よって、再送処理をより効率化させることができる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

なお、通信装置とは、例えば、後述する送信装置 1 0 1 等に対応する。

また、本発明は、データ送信方法としてもよい。